

(3) 避難のタイミングを見逃さない

身を守るために、早期避難を心がけてください

火が燃え広がる危険が大きいとき

警察、市役所などから避難勧告・避難指示等があったとき

住居の倒壊の危険があるとき

状況から避難の必要があると判断したとき

我が家が無事で、地域に火災の危険がなければあわてて避難する必要はありません。

ただし、火の手や煙が近くに見えたり、きな臭いなどの危険を感じたときはすぐに避難しましょう。

その地域全体が、危険と判断された場合には、避難勧告が発令されますので、それに従い集団で避難してください。

ただし、目前に危険が迫っているときは、個人の判断で避難する必要があります。

※市役所などからの避難の呼びかけがなくても、各人が洪水や土砂崩れなどの危険を感じた場合には、自主的に避難しましょう。

避難タイミングのポイント



土砂崩れの危険性のある地域に住んでいる場合、直ちに避難する必要があります。

大雨警報などの伝達の遅延や伝達ミスが起きる可能性があるため、警報を待たず避難行動を起こして下さい。

(4) 避難生活の注意点

避難所での生活は、不慣れな環境で多くの人と共同生活を送ることから、精神的に大変なストレスをもたらすことになります。そのため、一人ひとりが避難所のルールを守るとともに、お互いに協力し、ゆずりあって生活を送るように心がけましょう。

心得5か条

避難所では、避難してきている人たちみんなが災害に遭い、みんながつらい思いをしています。こんなときだからこそ、みんなで思いやりを持ち、協力し合いましょう。

自分がされたくないことをしないよう、周りの方への心配りをしましょう。

困った人がいたら積極的に助けましょう。

避難所内で決められたルールや役割は守りましょう。

お年寄りや体の不自由な方など、要援護者への気配りを心がけましょう。

うわさやデマに惑わされないようにしましょう。

災害時には、電話はしばらく使えない

災害時には、電話はしばらく使えないなると思ってください。

電話施設が被災した場合、復旧には数日ないし数週間かかる事が予想されています。

固定電話も携帯電話も回線が混み合ってしまい通話ができないことになるでしょう。